

平川市長 工 藤 貴 弘 様

平川市監査委員 鳴 海 和 正

平川市監査委員 小田桐 正 和

財政援助団体等監査の結果報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第7項の規定に基づき、財政援助団体等の監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果に関する報告をします。

記

第1 監査の概要

1 監査の目的

市が補助金を交付している次の者について、その事業が補助等の目的に沿って適正かつ効果的に行われているか、また、所管課では適正な交付事務を行っているのか等について監査した。

2 監査の対象

団体名等	所管課
お祭り実行委員会	教育委員会 生涯学習課

3 監査実施日及び監査実施場所

実施日	実施場所
令和8年2月5日	監査委員事務局

4 監査の範囲

令和6年度に交付された平川市社会教育チャレンジ支援事業補助金交付事務の執行を対象とした。

団体名等	監査対象事業
お祭り実行委員会	平川市社会教育チャレンジ支援事業

5 監査の着眼点

財政的援助に係る出納その他の事務の執行が、適正かつ効率的に行われているかを主眼として、次の観点について団体等及び所管課を監査した。

区分	着眼点
お祭り実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交付申請に係る添付書類は適時、適正に行われているか。 ・ 実績報告、請求は適時、適切に行われているか。 ・ 領収書等の証拠書類は適正に整備されているか。
所管課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助金交付に係る要綱は、整備されているか。 ・ 交付目的及び補助金対象事業の内容は明確か。 ・ 補助金の額の算定、交付手続、交付時期等は適切か。

6 監査の方法

- (1) 補助金交付申請書、補助金実績報告書、補助金請求書、支出伝票の監査
- (2) 所管課からの聴取調査

第2 監査の結果

1 補助事業の内容

令和6年度

事業目的	社会教育の担い手育成と、社会教育活動の活性化を目的とし、概ね18～40歳による社会教育施設を活用した事業に対し補助金を交付する。
事業内容	<p>地域住民の減少や社会情勢の変化等から、地域コミュニティの希薄化や各世代間の結びつき、地域文化の衰退が顕著になりつつある点と、冬期間は積雪により外出の機会が減少し、特に住民同士の関わりが希薄になるほか、体力の低下を引き起こしやすい時期である点に着目した。</p> <p>社会教育施設を拠点としたイベントを行うことで、子ども会をは</p>

	<p>じめとした地域コミュニティとのつながりをつくり、住民同士の関わりを深めるとともに、冬期間の体力・健康維持を図ることを目的とし、下記のとおりイベント等を企画・実践した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民向けワークショップ「ととのうサウナの入り方」 ・屋外サウナ and 雪上運動会（「雪と子どもたち」併催）
補助金額	121,376円
事業成果	<p>運動会やサウナ体験を通じて、冬季の外出や世代を超えた交流が図られ、施設の利用促進にもつながった。</p> <p>また、参加者が自らイベントを企画・実施する過程で、地域の社会教育団体（子ども会）とのつながりが生まれ、将来的な地域の担い手育成の足掛かりとなったものと推測される。</p>

2 監査結果

補助金の交付目的及び交付事務等に関する一連の事務処理について、申請書類等进行检查した結果、交付申請、請求、受領及び実績報告の手続きについて、補助残額の返納の際、返納額の誤算定による複数回の返納が確認されたものの、事務処理は適時適正に行われており、会計経理並びに関係書類の整備、記帳及び領収書等証拠書類の管理も適正と認められ、特に問題はなかった。

今回、監査対象とした社会教育チャレンジ支援事業は、参加者（事業主体）がワークショップ等を通じて社会教育活動を企画し、市の社会教育施設等を活用して実践する事業であり、令和6年度は、参加者が事業主体（お祭り実行委員会）を組織し、所管課（生涯学習課）と連携して補助金を活用したイベントを開催したものであり、社会教育活動による地域コミュニティの醸成のみならず、市民の体力・健康維持にも寄与する内容としたことによる相乗効果が図られた点で、高く評価できるものである。

令和7年度も、当該事業による子どもたちを中心にしたイベント（舞台発表、模擬店出店等）が市制施行20周年記念事業として開催される予定であり、当該事業が市内青年層の事業企画チャレンジを応援する事業として、今後も継続されることを期待するものである。